

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		～ 2025年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年3月24日		～ 2025年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されている	訪問支援に対する丁寧なニーズの聞き取りと、日常の支援のなかでの行動観察・フォーマルアセスメント/インフォーマルアセスメントを通じた課題分析を行い、訪問支援の観点を統一したうえで支援に当たっています。	お子様・保護者・支援者・関係者がさらにチームとして強固に支援体制を固められるよう、訪問先施設とのカンファレンスができる機会を今よりも充実させていきます。
2	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われている	事前の訪問先施設へのご説明を丁寧に行ったうえで、訪問先施設の指導方針や保育指針を聞き取り、保護者の願いと照らし合わせたうえで観察と、現実的に実行可能な範囲での助言を行えるように努めております。	多忙さに配慮しつつ、カンファレンスの機会設定を行い、より相互理解の中で支援が提供できるよう努めていきます。
3	保護者や訪問先に対し共感的な支援ができている		

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制	外部と繋がる訪問支援の責任の大きさや、求められるスキルの高さ（環境との相互作用の中から俯瞰的に子どもを捉え、適切な助言を行うことができるスキルが必要と考えています）を鑑みると、ご要望の多さに対して、サービス提供可能な職員がまだまだ不足しています。	個の理解や環境調整に関する研修自体は月に2回の実施と十分充実しているので、「訪問支援」に特化した研修を今後開発していき、適切なスキルを持った職員をさらに育成してまいります。
2	上記理由のため、支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行うというプロセスを訪問支援員間で行うことができていない。	そのため、訪問にあたることのできる支援員は児発・放デイともに1名ずつの配置となっており、訪問支援員としての役割分担や打合せを行った上での支援ができておりません。	そのうえで、訪問支援員同士がお互い補完しあいながら、多角的な視点でサービスが提供できるように体制を整えていきたいと考えております。
3	通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して定期的には発信できていない。	自己評価結果は公表させていただいております。日常の支援の充実により重点を置いており、現段階では、訪問支援の活動概要は積極的には公表できておりません。	訪問支援のサービス内容や実施のメリットなどを分かりやすく発信し、サービスの理解促進に努めてまいります。同時に、情報発信を行ったことで支援開始のご要望をいただいたときに、十分に対応可能な職員の育成にも着手してまいります。